

| 科目名  | 学問と人生 | 教員名 | はしもと<br>橋本 | まこと<br>信 | 開講 | 保育科 | 2年次 | 後期 |
|--|-------|-----|------------|----------|----|-----|-----|----|
| <p>・目的と内容</p> <p>学問は人間が自己と世界を総体的に把握しようとする知の営みの一つです。この授業では、人間として生きる上で関わる多様な物事を根本から把握する思考へ向かうことによって、それぞれの人がいろいろな物事や様々な人々に開かれたあり方に向かうことを目指しています。</p> <p>この授業の対象は特定されてはいません。そこで、保育者を志す人間として考えておくべき事柄をいろいろな角度から取り上げ、開かれた精神で一緒に考えていきたいと思ひます。</p>   |       |     |            |          |    |     |     |    |
| <p>・授業計画 [ 単位数：2 単位、授業週数：15 回 ]</p> <p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「学問と人生」とは？～この授業で何をするのか？</li> <li>2. 人間とは？（ビデオ1～いのちの旅）</li> <li>3. 人間の文明は？（ビデオ2～人類への旅）</li> <li>4. 人間の社会とは？</li> <li>5. 人間と保育を考える～ビデオ3「里山保育が子どもを変える」</li> <li>6. 人間と保育を考える～ビデオ3「里山保育が子どもを変える」</li> <li>7. 現代社会と子ども（1）</li> <li>8. 人間と保育を考える～ビデオ4「里山で子どもたちが輝く」</li> <li>9. 人間と保育を考える～ビデオ4「里山で子どもたちが輝く」</li> <li>10. 現代社会と子ども（2）</li> <li>11. 現代社会と子ども（3）～ビデオ5</li> <li>12. 人間と人間性</li> <li>13. 人間性と人間関係</li> <li>14. 生命と人間</li> <li>15. 人生と学問</li> </ol> |       |     |            |          |    |     |     |    |
| <p>・講義の進め方</p> <p>対話型の講義を目指します。授業時の質疑応答やビデオレポートなどの提出を重視しながら、それぞれのテーマを一人一人じっくりと考えていくことに主眼を置きます。</p>   |       |     |            |          |    |     |     |    |
| <p>・試験と成績評価</p> <p>成績評価は、ビデオレポート50%、平常点30%、自由課題レポート20%という仕方で行います。</p>  |       |     |            |          |    |     |     |    |
| <p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>この授業では知識を暗記するのが大切ではありません。何をどれだけ知っているかではなく、問題として何をどのように考えるのが重要です。主体的に考えようとする意欲と姿勢がこの授業の面白さを左右します。</p> <p>なお、以下にあるように、基本的な参考文献を挙げていますが、このほかの参考文献は授業時に紹介します。</p>  |       |     |            |          |    |     |     |    |
| <p>・使用教材</p> <p>教科書：指定しない</p> <p>参考書：『子育ての倫理学』・『環境倫理学のすすめ』加藤 尚武 著（丸善）<br/> 『子どもの脳の発達 臨界期・敏感期』神原 洋一 著（講談社）<br/> 『子どもの危機をどう見るか』尾木 直樹 著（岩波書店）<br/> 『子どもの社会力』門脇 厚司 著（岩波書店）<br/> 『里山っ子が行く!』斉藤 道子 著（農山漁村文化協会）</p>  |       |     |            |          |    |     |     |    |